

医療法人 貴和会 防府病院

基本理念 以和為貴 (貴和の精神で医療と福祉を行い広く社会に貢献する)

基本方針 わたしたちは、広く社会を含めたチーム医療を行い開かれた医療・福祉サービスをめざします

- ・患者さんの人権を尊重した精神科医療を行います。
- ・地域と連携して疾病の予防、治療、社会復帰のお手伝いをいたします。
- ・精神障害に対する地域への理解・普及啓蒙活動を行います。



看護部長になったの抱負

4月1日付で看護部長代理として着任し
10月1日に看護部長を拝命致しました。

3ヶ月間は不安を感じながら、看護部長代理として何ができるか、試行錯誤の毎日でした。

しかし、スタッフ面接や現状分析を通して看護部の課題と看護部長の役割について少しずつ明確になりました。

その過程から、今年度の目標を人材確保・人材育成・他職種との連携をあげました。

人材確保については、スタッフが働き続けられる環境づくりをすること、人材育成ではスタッフ評価を通して教育プログラムの見直しをすること、他職種との連携では委員会や行事を通して情報交換し協働することを目指したいと思います。

また、10月9日には精神科病院実地指導と医療監視(立入検査)があり、対外的な役割を経験しました。病院が一丸となって取り組み、各部署がそれぞれ役割をはたし無事審査を終えました。チーム連携が発揮できた結果と考えます。

また、緊張の連続ですが、その分休日は自分自身の時間を大切にしており、今は断捨離にはまっています。食器棚には9割の未使用の器があり、断捨離すると心もとても軽くなりました。皆様にもおすすめします。

来年度は診療報酬改定があり、施設基準の見直しも考えられます。病院経営も念頭にいれつつ、患者さんや家族に寄り添い、質の高い看護が実践できる環境づくりを実践したいと思います。



看護部長 廣川 裕美子



非常食訓練



9月1日は防災の日です。当院では非常時を想定した食事提供を行いました。非常時に使用できるよう備蓄品が保管されています。病棟スタッフが備蓄品の保管場所に取りに行き、準備・運搬・配膳を行います。エレベーターが使用できないことを想定しているため、階段を上り下りし病棟まで運搬しました。

備蓄品はレトルトのおじやなので普段とは違う食事になりましたが、患者さんの協力のもと非常食の訓練を行うことができました。

いつ何が起こるか分からないため、訓練の反省をもとに非常時に素早く行動ができるように備えたいと思います。



防府高校 看護専攻科実習

9月4日より防府高校看護専攻科の実習が始まりました。

初日のオリエンテーション後、身体拘束体験を終えたのち、病棟で患者さんを受け持ち実習開始となります。

病棟実習の合間を縫って外来実習、他病棟見学と学生さんは大忙しですが日々の実習の中、時には患者さんに癒されながら実習を乗り越えているとのことでした。

当院での実習が精神疾患への理解をより深める機会となることを切に望みます。



交流を深める実習生と患者さん

職場体験学習

9月25・26日の2日間、防府市内の国府中学校の2年生4名が、職場体験学習で当院を訪問しました。

病院内で働く専門職の話の聴いたり、救急蘇生技術やストレッチャー体験など行いました。

デイケアでは、利用者の皆さんや、看護実習生の皆さんとチーム対抗戦のゲームを行い、大いに盛り上がりました。ゲームをしながら、精神科のリハビリテーションについても学んでもらいました。

今日のことが少しでも将来の役に立てれば幸いです。



説明を真剣に聞く生徒さん達

編集後記

いちょう便りの8月号で紹介しましたが、旧本館の解体工事が終わり、新たに職員駐車場が完成しました。景色が一変し、完成した駐車場を見た患者さんからは驚きの声もあがっていました。新しくできた駐車場に感謝しながら、これからの日々の業務に精進して行きたいと思います。